

# 国際的な会計人材の育成に関する取組み

公益財団法人財務会計基準機構  
企業会計基準委員会  
2015年11月19日

(本資料中の意見に係る部分は、発表者の個人的見解であり、企業会計基準委員会の公式見解ではありません。)

## (1) 会計人材開発支援プログラム

- 中長期的な視点に立った国際的な会計人材の発掘・育成を図るため、市場関係者の協力を得て、2011年に会計人材開発タスクフォースを設置し、会計人材開発支援プログラムを開始した。これまで以下のとおり、実施している。

	期間	参加者	実施回数
第1期	2012年1月～2013年12月	(プロジェクトA) 監査法人13名 作成者7名 利用者5名	Accountingプログラム 17回 Writingトレーニング 17回 Discussionトレーニング 17回 その他 28回
		(プロジェクトB) 監査法人4名 作成者2名 利用者3名	Accountingプログラム 18回 Discussionトレーニング 12回 その他 30回
第2期	2014年5月～2015年12月	監査人10名 作成者8名 利用者4名	Accountingプログラム 14回 Writingトレーニング 13回 Discussionトレーニング 15回 その他 20回

- 上記参加者については、現在、2名がIASBの研究員、3名がASBJの研究員、7名がASBJの専門委員会の専門委員として、それぞれ会計基準の開発に深く関与している。
- その他、上記参加者の多くが、ASBJとの意見交換会への参加、IASBによるアウトリーチへの参加等を通じて、国内外の会計基準の開発に関与している。

## (2) IASBへの研究員の派遣

- IASBの基準開発に貢献するために、2006年よりロンドンの常駐者として研究員を、以下のとおり派遣している。派遣者は、派遣前に半年程度ASBJ研究員として活動を行った後に赴任している。原則として、任期は2年で、毎年1名派遣することとしている。
- これらの派遣者は、将来的に、IASBにおけるIFRSの開発や我が国からIASBに対する意見発信等において中心的な役割を担うことが期待される。

派遣者の所属	期間	IASBにおける主な担当
監査法人	2006年10月～2008年9月	連結
監査法人	2008年12月～2011年2月	連結
監査法人	2009年6月～2011年9月	税金関連
監査法人	2012年1月～2014年5月	IFRS解釈指針委員会
作成者	2012年1月～2013年12月	IFRS解釈指針委員会
日本銀行	2013年8月～	動的风险管理
監査法人 (会計人材開発支援プログラム受講者)	2014年1月～	退職給付
監査法人	2015年1月～	IFRS解釈指針委員会

(注)2016年1月より、現在、派遣している者との交代で一名(会計人材開発支援プログラム受講者)を派遣することを予定している。

### (3) FASBへのスタッフの派遣

- 国際的な会計基準の開発に貢献するために、米国財務会計基準審議会 (FASB) に国際研究員1名 (これまで、概念フレームワークや非継続事業に関する会計基準等を担当) を派遣している (現在、出張ベースでIASBの概念フレームワーク担当のスタッフとしても活動している。)

### (4) ASBJスタッフの活動

- ASBJスタッフのうちIASBの基準開発に関連する業務を行っているスタッフは、以下のような活動を行っており、国際的な会計人材の育成につながっている。
  - ✓ 毎月のIASB会議の内容の分析
  - ✓ 国際会議への参加
  - ✓ IASBスタッフとのコミュニケーション

